

※ 今週のアウトルック (10/31~11/4)

先週は米国経済指標などの好転がきっかけとなり、ドル買い、円売りが進みました。一方、クロス円は通貨ごとにまちまちの結果となっています。

今週は週末に米国雇用統計を控え、結果を睨んだ展開が予想されます。今のところ、結果の好転、12月利上げを確実視という見方が強いので、予想外に悪かった場合は、反動から大きく売られてしまう可能性もあるように思います。

先週のドル円は徐々に円安が進み、木曜日には105円を超えたものの、金曜日のNY市場の後半には、105円を割り込んでそのままNY市場を終了しています。

今週は、米国雇用統計の結果を占いながらの展開となりそうですが、好転はある程度織り込まれていて、それ程大きな反応とはならず、予想外に悪化した場合には大きく反転してしまう可能性はあるように思います。

ドル円の予想レンジは103円から107円です。

先週ユーロドルは、1.085の壁に挑んだ後、週末には1.1付近まで大きくリバウンドしてそのまま終了しています。

今週はやはり米国雇用統計の結果に大きく左右されそうですが、116円の壁を破らない限り本格的な上昇トレンドに乗ることは難しいように思います。

ユーロ円の予想レンジは112円から116円です。

ポンド円は相変わらず低空飛行を続けています。125円以下へのチャレンジチャンスを伺っているような状況にすら感じます。米国雇用統計の結果が思いのほか悪かった場合には、きっかけとなってしまいう可能性はあるように思います。

ポンド円の予想レンジは120円から129円です。

今週は週末の米国雇用統計の結果を予想しながらの展開となりそうですが、結果発表後の金利に絡む要人発言にも注意が必要なように思います。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。